

株式会社アイセイ薬局

2011年12月21日

市場	大証 (JQ)	業績 (百万円)	2010/3	2011/3	2011/9 (2Q)
上場承認日	2011/ 11/ 18	売上高	26,417	29,564	17,546
上場予定日	2011/ 12/ 22	営業利益	1,053	1,300	804
主幹事証券	大和証券 CM	経常利益	1,001	1,129	751
監査法人	新日本有限責任監査法人	当期利益	375	407	366
URL	http://www.aisei.co.jp/	総資産	12,740	16,585	16,720
証券コード	3170	純資産	2,280	2,057	2,399

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2011/3期)

- ・ 同社グループ (連結子会社8社) は、医療機関の発行する処方箋に基づき一般患者に医薬品の調剤を行う、①調剤薬局事業を展開し、医薬分業率の低い地域に「分業型」の出店を推進している。「分業型」には、大規模総合病院の門前に出店する「門前薬局型」と個人診療所の分業に係る「マンツーマン型」があるが、同社は後者に注力している。マンツーマン型の場合、医師からあらかじめ薬剤や処方に必要な技術の情報を得られるため、在庫水準や機材等を適正な水準に保つことが出来るほか、薬局の移転が極めて稀になる (移転する場合も、医師とのコミュニケーションにおいて事前に情報を入手し対応可能) など、効率的な運営が可能となる。
- ・ このほか、②その他事業、としてデイサービス3施設、グループホーム8施設、特定施設1施設の運営も行っている。
- ・ 売上高は、①284億円、②11億円と、圧倒的に①が多い。2011/3末時点の調剤薬局店舗数は192であり、単純平均で1店舗当たり売上は約1.5億円程度。店舗数は2011/9末には203にまで増加しており、売上高は同程度 (1店舗当たり0.8億円/6ヶ月) 増加している。また、処方箋1枚当たりの売上は7,500円弱程度。
- ・ 地域別の売上高では、東北 (6.8%)、関東 (57.9%)、東海 (25.9%)、関西 (9.4%) であり、関東地方の比率が高い。ただし、医薬分業率は京都 (42.8%)、大阪 (49.5%)、兵庫 (61.5%)、奈良 (50.1%)、愛知 (54.3%) と関西・東海地方が低い状況になっている。同社は分業比率の低い地域への出店を進めているため、これらの地域への出店が多くなる可能性がある。なお、医薬分業率の全国平均は63.1%。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2011/3期)

- ・ 総資産は165億円。主に現預金15億円、営業債権43億円、たな卸資産18億円、有形固定資産33億円、のれん14億円、敷金保証金16億円など。有形固定資産及び敷金保証金は、店舗 (34億円) 及び本社 (6億円) に係るものである。また調剤薬局業界はM&Aによる規模の拡大を繰り返しており、これによりのれんが生じている。のれんは20年以内の合理的な範囲内で償却されており、2011/3期の償却負担は2億円。なお、2011/9(2Q)には、のれんは16億円にまで増加している。
- ・ 負債は145億円。仕入債務68億円、有利子負債56億円、未払税金6億円など。出店に係る資金を、リースを含めた借入に依存しており、有利子負債の比率が高くなっている。その結果、資金調達手数料を含めた支払利息が2億円ほど生じており、営業外費用に計上されている。なお、有利子負債には財務制限条項 (純資産の維持、経常利益の維持) が付されている。
- ・ 新規出店に伴い売上が増加しているが、営業利益率は4%前後で推移している。在庫の影響を無視して単純に仕入と売上の関係を見ると、①の原価率はおおむね60%~65%程度と見られる。今後、薬価の下方改訂等が起こった場合には、原価率が上昇する可能性もある。
- ・ 調剤薬局の場合、個人への医薬品販売は非課税売上になる一方で、薬品の仕入は課税仕入となる。そのため、仕入時に支払った消費税の多くは売上にかかる仮受消費税と相殺できず、租税公課として売上原価に計上されている。
- ・ 出店投資が増加していることから、投資CFが△26億円 (2010/3期は△10億円) と大幅なマイナスになっている。営業CFがプラス16億円 (2010/3期は15億円) あるものの吸収しきれず、結果として長期借入金が増加している。
- ・ 業績には季節変動性があり、インフルエンザ・花粉症等の患者が増加する下半期に、患者が多くなる傾向にある。そのため、1Q、2Qは比較的業績は低調に推移するとのこと。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・ 調達予定額は8.5億円。調達資金は、2013/3期の新規調剤薬局店舗の出店資金として4.5億円を充当し、残額は2012/3期に借入金の返済に充てる予定。
- ・ 役員構成は、取締役8名 (うち社外4名)、監査役3名 (全員が社外)。
- ・ 大株主には、㈱メディパルホールディングスがあり、同社の議決権の20.2%を保有している。メディパルは、取締役を1名派遣しているほか、グループ会社のメディセオが同社の主要仕入先 (取引金額は68億円。売上原価の26.8%程度) となっている。
- ・ 筆頭株主は、議決権の26.7%を保有する代表取締役。これに㈱メディパルホールディングス (議決権の20.2%) 等が続く。大株主には法人株主が並んでおり、代表者以外の役員陣は議決権の0.7%程度となっている。新株予約権は、発行済株式の10.5%発行されており、主に役員・従業員に付与されている。

© ㈱アカウンティング・アシスト (無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書 (Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。